

自転車の製品事故防止のために

点検不備や使用時の不注意で発生した事故

【事例①】サドルを固定するボルトの締め付け方が弱かったため、走行中にサドルが外れた。

【事例②】走行中に路上の段差等に乗上げた衝撃で前輪リムが変形して前輪がロックされた。

【事例③】坂で電動アシスト自転車の走行練習中、発進する際に転倒した。

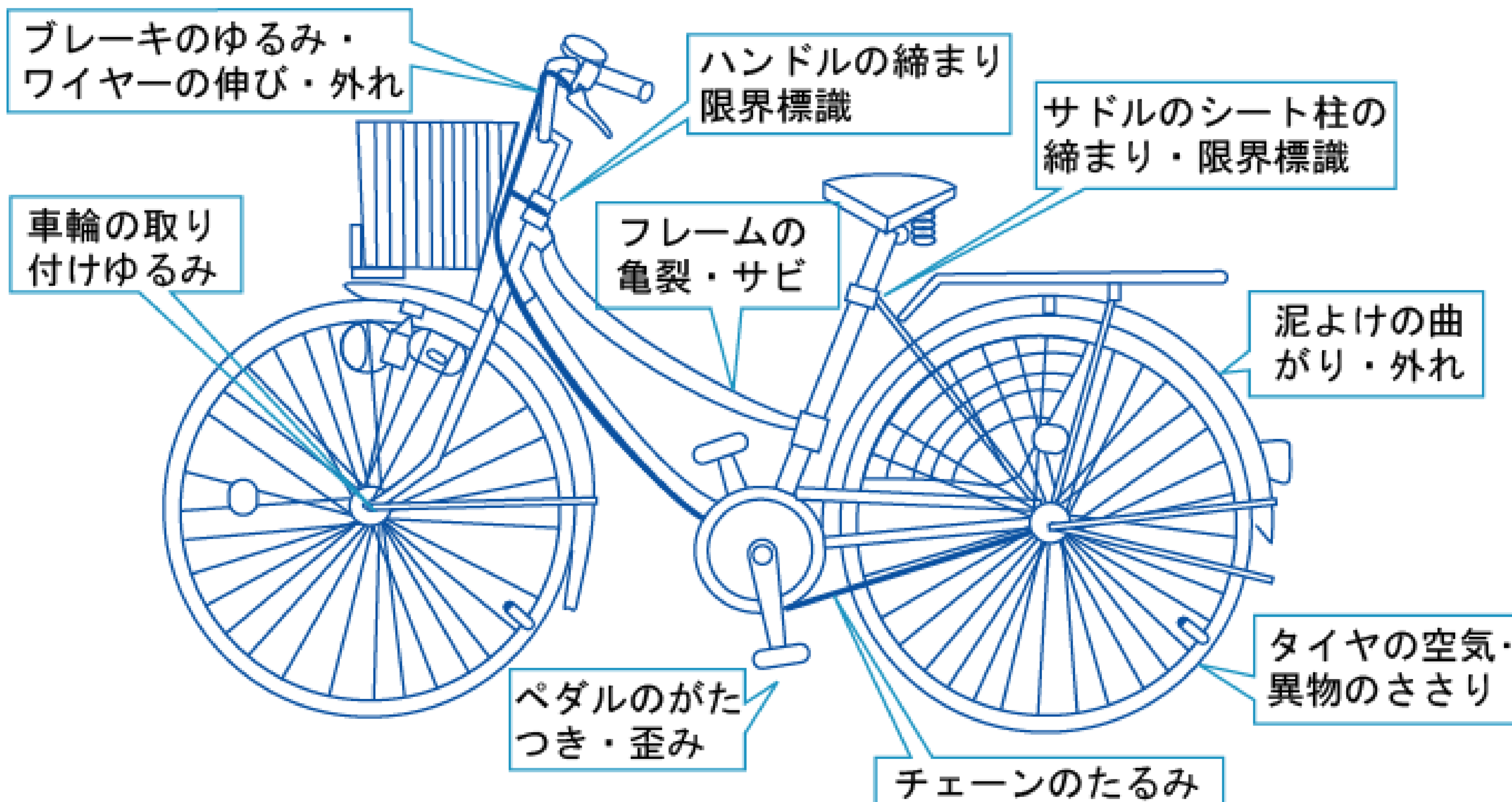
【事例④】走行中に前輪に異物を巻き込んだため、急制動がかかり、転倒した。

購入したら（初期点検を受けましょう）

自転車の使用を始めて1年未満で多くの製品事故が発生しています。新しい自転車を購入したら、取扱説明書をよく読み、自転車の操作に十分に慣れるまで注意して走行してください。加えて、購入後、数カ月のうちに購入したお店で初期点検を受けてください。また、安全使用のための講習を受けましょう。詳しくは自治体あるいは、最寄りの警察署や交通安全協会に確認してください。

⚠ 使用するときには（乗車前点検を行いましょ）

✓ チェックポイント



乗車する前に、自転車の各部位の点検を行ってください。異常を発見したら必ず販売店（自転車安全整備士、自転車技士など）による点検を受けてください。

特に自転車に衝突や転倒などによる衝撃があったときは、必ず点検を受けてください。

- 本体（フレーム）に亀裂やサビの発生など傷みはありませんか。（破損して転倒）
- ペダルにがたつきや歪みはありませんか。（破損、脱落して転倒）
- 前輪、後輪の取り付けにゆるみや歪みはありませんか。（車輪が脱落して転倒）
- 前輪、後輪のリムに変形やスポークのゆるみはありませんか。（車輪がロックして転倒）
- チェーンに余分なたるみ、サビや回転の異常はありませんか。（チェーンが切れて転倒）
- ハンドル軸（ステム）のはめ合わせ限界標識が隠れていて、確実に締まっていますか。（ハンドルが抜けて転倒）
- ブレーキのレバーやブレーキブロックの取り付けのゆるみ、ワイヤーの伸びやサビ、外れはありませんか。（制動不良やブレーキが破損で衝突）
- 泥よけに曲がりや外れはありませんか。（車輪に巻き込まれて転倒）
- サドルのシート柱（ポスト）のはめ合わせ限界標識が隠れていて、確実に締まっていますか。（サドルが外れて転倒）
- タイヤの空気圧は適切ですか。異物はささっていませんか。（パンクやリム外れ）
- 前ホークに亀裂、変形、サビの発生などはありませんか。（前ホークが破損して転倒）
- 折り畳み自転車は、折り畳み部が確実に固定されていますか。（可動部が折れて転倒）

